

## 天声人語

風が吹けば桶屋がもうかる。ある出来事が、めぐりめぐつて思わぬ結果をもたらすことの例えである。あるいは、こんな言い方もできるだろうか。リーマン・ブラザーズが潰れると、ドナルド・トランプ氏が大統領になる▼米国の不動産バブルがはじけ、金融大手リーマンが破綻に陥った「リーマン・ショック」。それが起きたのが10年前のきのうである。放っておけば倒産が連鎖する恐れた米国政府はこのあと、税金を使って軒並み金融機関を助けることになる。銀行ではなく経済を守るのが狙いだが、だが、うまくいかなかつた。企業にお金が回らなくなり、多くの人が職を奪われた。一方で、バブルをあおった金融機関の多くは生き残つた。経営陣に高額な報酬が払われ続けたこともあり、人びとの怒りを買った▼トランプ氏の参謀役だったステイーブン・パノン氏が政治に関わったきづかけが、この金融危機だったという。「金融機関は救済を受け、誰も牢屋に入らない」。経済や政治のエリートたちを標的にし、怒りをかきたてる手法が受け入れられていった▼桶屋ならぬトランプ氏を喜ばせる以外の道が、本当はあったのではないか。危機の前から、米国は経済的な不平等の大きい社会であった。それを直視し、是正へと動き出す。苦境にあえぐ人びとに、政府が手をさしこべる▼リーマン・ショックは、経済だけではなく、政治の世界にも大きな傷をつけることになった。残念ながら、こちらの方が長く残りそうな傷である。